

令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	千葉大学		
プログラム名称	革新医療創生 CHIBA 卓越大学院		
プログラム責任者	中谷 晴昭	プログラムコーディネーター	中山 俊憲

〔採択理由〕

本プログラムは、世界を先導する革新医療創生のイノベーターを輩出することを目指し、新たに構築した「クラスター制CHIBA 教育システム」によって部局や研究室の枠を取り払うとともに、学生が複数のクラスターで専攻・サブ専攻を修めることで海外ダブルメジャー相当の博士を育成する主専攻・サブ専攻制を導入して大学院教育改革を断行し、我が国の大学院教育を牽引しようという意欲的なプログラムである。

「クラスター制CHIBA教育システム」は、学内の部局や学外機関の壁を超えて教員が指導に当たるものであり、成功すればシステムの柔軟性や機動性が発揮され、大学全体や他大学にも適用可能な仕組みとなると考えられる。

また、千葉大学は、医学・免疫学の領域において既に高い実績を持つことに加えて、海外21機関グローバル教育体制CITIP (Chiba Innovative Therapeutics International Program) 及び26企業等の産官学横断教育体制CITICO (Chiba Innovative Therapeutics Industry Consortium) という形で海外大学や国内企業等との連携に基づき優れた研究者が教育指導に関わる体制ができている。海外大学とのダブルディグリーコースの開始も予定され、革新医療創生国際コースの学生はダブルディグリーが取得できることも魅力的である。

細部にわたり練られた教育プログラムとなっており、養成すべき人材像やそれに対する社会からのニーズ、想定される人材の活躍の場など明確なビジョンを示し、新しい試みを実行していくことが望まれる。本プログラムに重要な役割を果たし得る医療社会学や医療経済学等との連携をより充実させ、着実に計画を実施していくことも期待される。

なお、「クラスター制CHIBA 教育システム」では、6つのクラスター、22のユニットという組織が運営され、学生は3クラスター以上で学修するという複雑な仕組みとなっていることから、円滑な運営に向けた学内マネジメントに十分に留意し、必要な施策を講じていただきたい。また、学生に対し高い資質と意欲を求めるプログラムであるため、養成する人材像とその社会的ニーズやキャリアパスなど、プログラムの目指すところを教員・学生・関係者で明確に共有し、学生の学修支援・履修指導を充実していただきたい。